

会 議 録

会議の名称	平成 28 年度第 2 回茨木市文化振興施策推進委員会
開催日時	平成 29 年 2 月 14 日 (火) (午前 <u>午後</u> 1 時 30 分 開会) (午前 <u>午後</u> 3 時 30 分 閉会)
開催場所	市役所南館 3 階 防災会議室
議 長	出口委員 (委員長)
出 席 者	飯嶋委員、大西委員、川本委員、栗本委員、出口委員、山野委員 【6 人】
欠 席 者	池上委員、木村委員、森委員 【3 人】
事務局職員	田川市民文化部長、庄田文化振興課長、寺田文化振興課長代理 田中文化振興課振興係長、川寄文化振興課職員 【5 人】
開催形態	<u>公開</u> ／非公開
議題 (案件)	(1) 平成 27 年度施策評価結果 (2) 平成 28 年度文化振興事業実施状況 (3) 確かな未来ミーティング「市民会館 100 人会議」の開催状況 (4) 市民会議の開催状況 (5) 平成 29 年度文化振興事業実施計画 (6) その他
配布資料	(1) 次第 (2) 委員名簿 (資料 1) (3) 第 5 次茨木市総合計画の構成と文化振興ビジョンの位置づけ (資料 2) (4) 施策評価シート (資料 3) (5) 平成 28 年度 文化振興事業計画 (文化振興課) (資料 4) (6) 茨木市文化振興財団 平成 28 年度 芸術文化事業実施状況 (資料 5) (7) 市民会館 100 人会議の開催状況 (資料 6) (8) 平成 28 年度 第 1 回 茨木市文化芸術推進市民会議 (結果レポート) (資料 7) (9) 平成 29 年度 文化振興事業計画 (文化振興課) (資料 8)
傍 聴 人	2 人

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	1 開会 ただ今から、第2回茨木市文化振興施策推進委員会を開催いたします。まず、会議の公開については、第1回の審議会で決定されたとおり、本会議は公開となっているのでよろしくお願いいたします。では、最初に委員の出席状況を事務局から報告をお願いします。
事務局	文化振興課長の庄田です。よろしくお願いいたします。 まず、本日の委員の出席状況につきまして、ご報告いたします。 茨木市文化振興施策推進委員会規則第6条第2項により委員の総数の2分の1以上の出席がなければ会議を開くことができませんが、 本日のご出席は6人、欠席は3人です。 委員9人中6人出席ですので会議は成立しております。
出口委員長	2 議事 それでは、これより案件の審議に入ります。 まず、案件について事務局の説明を求めます。
田中係長	本日は5つ、案件がございます。1つ目は「平成27年度施策評価結果」、2つ目は「平成28年度文化振興事業実施状況」、3つ目は『確かな未来ミーティング「市民会館100人会議」の開催状況』、4つ目が「市民会議の開催状況」、5つ目が「平成29年度文化振興事業実施計画」です。 それとは別に、その他の部分で平成30年度からの実施計画を新年度から策定するにあたって、自由なテーマでアイデアとアドバイスをお願いしたい。
出口委員長	(1) 平成27年度施策評価結果 まず、1つめの案件「平成27年度施策評価結果」について説明いたします。 【平成27年度施策評価結果 説明】 説明は終わりました。 ただ今説明のありました平成27年度の取組について、各委員のご意見、ご感想などをお話いただけたらと思います。
飯嶋委員	文化芸術に関しては、人々の想像力を育むにあたって、無くてはならない。他人のことを自分のことのように感じる力を養う。これに対しては、費用対効果を求めるこ

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
山野委員	とは難しいと考えている。 今ではなく、将来に渡って何が必要なのかと考えることが重要である。文化はコミュニケーションやつながりの土台となるものである。 今の茨木市にある 500 の団体が機能不全に陥っている。 現在、提案公募型補助金の予算は 80 万円であるが、これではあまりにも少ないのではないかと。例えば、音楽芸術協会の音楽配達便など、遠方にもきめ細かく伝えていく事業が重要である。補助金の予算を増やし、事業を掘り起こすことで市民の関心を高めていく。また、市の職員も文化の良さにもっと触れて、感じて欲しい。
大西委員	施策評価の参考指標であるが、3-3-2「文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり」に市民ギャラリーの入館者を 3-3-4「歴史遺産の保存・継承」にキリシタン遺物史料館の入館者を追加するとより分かりやすくなる。
栗本委員	施策評価については、茨木市の強み、弱みや課題が分かるような評価方法を検討して欲しい。
川本委員	文化は数値で評価することが難しいと思う。その時々流行や内容にもよるので、一概に何が正解かは分からない。
出口委員長	施策の推進には予算がかかる一方、行財政改革は予算を削減することも含まれている。この 2 つを両立させることは難しいと考えるが、どちらを重視しているのか。
田中係長	制度設計を担当している政策企画課が施策の推進と業務改革を同時に担っている。
出口委員長	今後を見据え、スクラップ&ビルドも考えながら、進めているということですか。
田中係長	そのとおりです。
出口委員長	他に意見はありますか。
各委員	【意見なし】
出口委員長	それでは、案件 1 「平成 27 年度施策評価結果」の審議を終了します。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	(2) 平成 28 年度文化振興事業実施状況 次の案件について、事務局の説明を求めます。
川 寄	【「平成 28 年度文化振興事業実施状況」説明】
出口委員長	説明は終わりました。「平成 28 年度文化振興事業実施状況」について、各委員のご意見、ご感想などをお話しいただけたらと思います。
大西委員	文化振興財団としては青少年を対象とした学習体験事業は文化の裾野を広げる事業であるので、推進していきたい。
飯嶋委員	伝統芸能、美術を子どもたちに伝えたい。財団は伝統的な文化事業を実施しているので、続けてほしい。
栗本委員	事業一覧を見ると、他都市もしている事業がほとんどである。茨木市で力を入れている事業、新しく始めた事業はどれか。 有料の事業は、両親が文化に興味がある場合は参加するが、家庭によっては参加しない場合があるので、どんな家庭でも参加できるような事業を展開して欲しい。 ほかには教育委員会との連携も重要である。
田中係長	公共施設にペイントする HUB-IBARAKI ART は他市ではやっていない珍しい事業で力を入れて取り組んでいる。
出口委員長	施策評価でも HUB-IBARAKI ART は高く評価されている。 実はアメリカでも大不況のときのニューディール政策のとき、芸術家の需要創出のために郵便局などの外壁にアートを描く事業を進めた。外壁に描くと目立つので、検討していただいてもいいかと思う。 メルボルンでは壁画が描かれるなど、まち全体がアートになっているので、茨木市も外壁アートを進めてはどうか。
山野委員	事業一覧を見て、開催場所が立命館いばらきフューチャープラザとなっている事業が多くて寂しい。市立のホールでの開催が望ましい。
庄田課長	その件につきましては、次の案件「市民会館 100 人会議」で触れさせていただく。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
川本委員	事業は多く挙がっている印象を受ける。若い方向けの広報媒体である Facebook、Twitter など SNS の更新頻度を増やして欲しい。
飯嶋委員	以前、大阪市がフェスティバルホールで中学生向けのコンサート鑑賞会を実施していた。前々から茨木市でも同様に小・中学生を集めて、開催できないかと考えていた。私も中学の頃に早稲田の演奏にあこがれて楽器を始めたので、茨木市で開催できれば学生が文化に触れるきっかけになると思う。
大西委員	特色のある事業を生み出すことは難しい。文化振興財団では新作狂言の茨木童子を隔年で 3 回開催している。有名などころでは高槻市のジャズのようなイベントの開催を模索していきたい。また、小学校で何か催しができればと思っている。
飯嶋委員	提案公募型は 3 年までとなっているため、来年度から音楽配達便の補助がなくなる。市民文化への寄与度が高い事業については補助を継続する仕組みを作って欲しい。
出口委員長	他に意見はありますか。
各委員	【意見なし】
出口委員長	それでは、案件 2 「平成 28 年度文化振興事業実施状況」の審議を終了します。
出口委員長	(3) 確かな未来ミーティング「市民会館 100 人会議」の開催状況 この案件について、事務局の説明を求めます。
田中係長	【『確かな未来ミーティング「市民会館 100 人会議」の開催状況』説明】
出口委員長	説明は終わりました。『確かな未来ミーティング「市民会館 100 人会議」の開催状況』について、各委員のご意見、ご感想などをお話しいただけたらと思います。
飯嶋委員	全部見ました。関係団体の各世代の方が参加されており、茨木に住んでよかったという意見が多い。新しい市民会館には若い人、高齢者など幅広い世代との交流スペースを設置して欲しいとの意見が多い。 また、J R と阪急の間に位置しているので、例えば、シドニーのコンサートホール、ニューヨークのエンパイアステートビル、万博の太陽の塔と並ぶような芸術とし

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	てのインパクトがあり、ランドマークとなる施設にして欲しい。他には、成人式は大学ではなく、市の施設で開催して欲しいという意見もあった。
山野委員	多くの皆さんの意見を聞くことは良いことである。質の高いホールで音楽を聴いて情操教育に寄与して欲しい。シンボリックで100年使える施設にして欲しい。ビジョンがないので、10年、30年先を見据えて計画をしているように思えない。最終的に誰がいつまでにどのように決めるのか見えてこない。
庄田課長	市民会館の跡地活用については、政策企画課が中心となり、市全体で検討している。50年、100年先を見据えたシンボリックな施設とするために議論している。
出口委員長	具体的なスケジュールは決まっているのか。
庄田課長	まだである。
川本委員	岐阜県可児市文化創造センターは芸術・演劇に特化したホール、読書スペース、公園など、良い施設で参考になると思う。
飯嶋委員	意見集約し、ビジョンを示して欲しい。 阪急東口再開発も含め、20年、50年先も使用できる大・中・小ホール、能楽堂、現代美術、など様々な要素を考慮し、緑に囲まれた施設を建設して欲しい。
大西委員	市民会館で活動していた財団として、このままでは小さくまとまってしまうのではと危惧している。中心部はこのような地区、駅前はこの施設と大枠の設計を発表すると意識づけされる。
栗本委員	以前、阪急茨木市駅東口あたりで検討していたのを視察したときに、大阪を軸として、京都方面は茨木の市民会館、神戸方面は西宮の芸術劇場といった見方ができるという意見が挙がっていた。西宮の芸術劇場はどのような使い方をしているかという海外のバレエ公演や地元のピアノ発表など多岐に渡った使い方をしている。 茨木市のグランドデザインとして、遠方からも足を運んでもらえ、市民にも多く利用してもらえる役割分担をした拠点となるような考え方でグランドデザインを検討して欲しい。
飯嶋委員	栗本委員から素晴らしいお話をいただいた。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
栗本委員	新しいホールでは利用団体の会員登録制を採用して欲しい。会員になると優先予約や前日の施設予約も可能とするなど、優遇する。利用団体の 1/30 でも登録すれば、採算も取れる。また、企画・提案することは財団に任せるのではなく、市民の未来に奉仕することに喜びを感じる人材をこれからの茨木を見据えて育てて欲しい。 骨組に関して、強み、弱みを把握することが今、必要なことである。 西宮では兵庫県が設置した基準をクリアした団体は優先的、低価格で予約できるようにしている。しかし、基準をクリアするには有名人が出演しているなど、ブランド力が重視されている。地元の団体は、一部を除き基準を満たしていないので、あまり優遇されていない。茨木では、市民や地域発の有名ではないがこれから伸びていく団体をサポートするなど、良く利用する地元の団体を支えるような仕組みがあっても良いのではないかな。
出口委員長	他に意見はありますか。
各委員	【意見なし】
出口委員長	それでは、案件 3 『確かな未来ミーティング「市民会館 100 人会議」の開催状況』の審議を終了します。 (4) 市民会議の開催状況
出口委員長	この案件について、事務局の説明を求めます。
川 寄	【「市民会議の開催状況」説明】
出口委員長	説明は終わりました。従前と比較すると具体的な内容を議論している。「市民会議の開催状況」について、各委員のご意見、ご感想などをお話しいただけたらと思います。
栗本委員	この市民会議で、吸い上げた意見をどのように実現していくのか。
田中係長	経費が掛からないものや実現可能性が高いところから取り組んでいく。
庄田課長	できるところから取り組み、経費が掛かるものについては、費用対効果を見ながら実現に向け予算要求していく。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	来年も施策評価を実施するのであれば、市民会議で実現したことを記載すると提案した方も喜ばれ、また新しい提案をしてくれると思う。 他に意見はありますか。
各委員	【意見なし】
出口委員長	それでは、案件 4 「市民会議の開催状況」の審議を終了します。
出口委員長	(5) 平成 29 年度文化振興事業実施計画 この案件について、事務局の説明を求めます。
川 寄	【「平成 29 年度文化振興事業実施計画」説明】
庄田課長	補足ですが、平成 30 年は市制施行 70 周年であるので、平成 29 年はプレ事業を内部で検討しています。詳細については、来年度 1 回目の会議で説明する。
出口委員長	説明は終わりました。
各委員	【意見なし】
出口委員長	それでは、案件 5 「平成 29 年度文化振興事業実施計画」の審議を終了します。 始めにお伝えさせていただいたとおり、委員の皆さんから文化振興に関する意見を順番にいただければと思います。
田川部長	文化振興への意見を求めさせていただいた趣旨を補足します。人口減少社会を迎え、自治体間競争が始まるなか、市内在住の方に気持ちよく過ごしてもらうためには、文化やスポーツの力は欠かせない。現在、本市では、市長がかわり、市制施行 70 周年を迎えるなど、文化の取り組みのスタンスの転換期で、従来とは異なるイベントを開催するにあたり、委員の皆さまから意見をいただきたいと考えている。
山野委員	新しいホールが出来るにあたり、茨木のアマチュアオーケストラを支える事業を進めて欲しい。
大西委員	提案公募型の枠を早い段階で公募し、市民参加の周年事業として欲しい。現在、募

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
飯嶋委員	集しているブランドメッセージについては、70 周年も含めて将来の方向性を検討して欲しい。 市民会館の跡地だけでなく、長い目で見て大きな方向性を示して欲しい。
栗本委員	昨年、尼崎市が 100 周年を迎えた際、ものづくりのまちということで、商工会議所も含め、愛着が湧くイベントを多数、催していた。昔住んでいた有名な方に体験談として思い出を語っていただきながら、イベントを応援してもらうほか、尼崎出身の元保育士の編曲者が市民から尼崎の良いところを集めて、市民が聞くとすぐ覚えられる曲にして発信するなど、多様なイベントを企画した。茨木市にもそういった発信ができる方がいるはずなので発掘するなど、すでに持っているたくさんのお宝をプロデュースすれば、イベントは盛り上がる。
川本委員	市民会館はもともと阪急茨木市駅付近で PFI を活用して複合施設の利用料金で賄いたいのが難しいという話があった。新たに市民会館を建てるのは、反対であったが、その理由は仮に維持管理費が 1 億かかるのであれば、その費用をイベントや市民団体にかけるよう工夫するなど、ソフト面に重きを置いて欲しい。
出口委員長	大阪府と大阪市では副首都構想が挙がっている。副首都という概念がはっきりしないという中で元都知事の猪瀬氏が首都といえば政治（政府）、経済（企業）の中心だが、副首都はフィランソロピー首都、つまり税金でなく、寄付金によって第 3 セクターを動かすという話が進んでいる。そういう意味で以前は企業の城下町であった茨木市において、企業が出て行った後、政府でも企業でもない大学が入ってきており、ある意味で第 3 セクター首都の象徴となっている。日本が伝統的に使っている手法、例えば、伏見稲荷では、鳥居に寄付を募り名前を入れている。例えば、みんなが募る 70 周年として、大々的な寄付をつのって、ランドマークとなるパブリックアートをつくり、寄付者の名前を入れるような形にすれば、副首都構想の趣旨に合致する。70 周年なので、7 千円とかシンボリックな事業をつくりあげていくことによって、「みんなの楽しいが見つかる文化のまち」に繋がる。寄付が集まるのかという心配があると思うが、おそらく巨額の寄付が出てくると思うので、是非、取り組んでもらいたい。
飯嶋委員	神社仏閣の寄付は、ホールの建設費、維持管理費にも適用できると感じた。
出口委員長	70 周年で寄付金の実績をつくり、さらに次のステップに進んで欲しい。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
川本委員	寄付金の話で、単発のイベントであれば、クラウドファンディングが有効である。
出口委員長	筑波大学は図書館の本までクラウドファンディング、70 周年は市が取り組むには良いきっかけだと思う。
川本委員	クラウドファンディングの手法を何回か用いたことがあるが、有名人を招いたイベントを開催するのに 500 万円が必要となる場合、1 口 1,000 円で握手、2 口 2,000 円でイベントのチケット、30 万円で会えるなど、有償のメリットがあるところを取り組みやすい。寄付もネットから簡単にできる。
飯嶋委員	自治体にクラウドファンディングのノウハウはあるのか。
田中係長	ふるさと寄付金の仕組みを参考にしたガバメントクラウドファンディングに取り組んでいるところがあるなど、取り組んでいる自治体は増えている。
出口委員長	府と市が推進しているので、力を借りながら取り組んでいって欲しい。
山野委員	さくらまつり、茨木フェスティバル、光の回廊などでは企業からの寄付を募っている。
出口委員長	例えば、ホールであればイス一つから寄付して名前が残るようにするなど、様々な工夫ができる。 ほかに意見はあるか。
各委員	【意見なし】
出口委員長	ないようですので、本日の案件は以上で終了となります。 事務局から何か連絡事項がありましたらお願いいたします。
田中係長	本日欠席の森委員から在職されていた関西大学を定年退職されることに伴い、文化振興施策推進委員会の委員を辞退したいとの申し出がありました。 森委員は本委員会だけでなく、「文化振興ビジョン策定専門部会」の委員として参加いただくなど、これまで本市の文化・芸術の振興へのご尽力に対し、心から感謝申し上げます。 先日、森委員にお会いした際に、本委員会は出席された委員が積極的に意見を述べ、

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	建設的な議論を進めており、大変貴重な場であるとお褒めの言葉をいただきました。 また、他の委員の皆さまには本委員会を任期途中で終えることになり、申し訳ないとお伝えくださいとのことでした。 事務局といたしましては、これまで森委員からいただいた貴重なご意見、ご提案を積極的に取り入れ、市政の推進に努めてまいります。 今年度の委員会はこれで終わりとなります。委員の皆さま、1年間どうもありがとうございました。 来年度の委員会につきましては、日時等、決定次第、ご連絡いたしますので、よろしく願いいたします。